

灰野庄平 （はいの しょうへい） 劇作家、演劇史家。明治二十年四月十四日新潟縣生  
れ、昭和八年四月二十一日歿（一八七一九二）。筆名 S・H。明治四十  
四年東京帝國大學文藝科大學校學科卒。翌年丸美屋商店入社。諸雜誌に  
戯曲、劇評を發表し、大正二年（一）は「未露風」、柳澤便等と雜誌「未來」  
を創刊。その同年（一）日本大學文學部で出講。

著書「秦の始皇」（大正十一年一月）、「新潮社「現代脚本叢書」」、  
「現代戯曲大観」（合著・劇作家協會編、大正十一年四月十七日新潮  
社）、「未知國への憧憬」（大正十一年十月十五日女子文社詩歌部）、  
「新劇名作集」（合著・文藝研究會編、大正十二年六月十五日芳文  
堂）、遺著「大日本演劇史」（昭和七年二月十五日第一書房）等。

